

## <翼状肩甲>

今回は翼状肩甲についてご紹介します。これは腕を前に上げる時に肩甲骨の内側縁が浮き上がって、天使の羽根のように見えるので、このように呼ばれています。代表的には前鋸筋麻痺があり、原因としては次のものがあげられます。

### 【原因】

- ・テニスのサーブやゴルフスイングなどのスロー動作
  - ・産褥期の新生児との添い寝で腕を拳上した状態などにより前鋸筋を支配している長胸神経が伸張され麻痺する。
  - ・重いリュックを背負った後に麻痺が起きる場合は、腕が下方に牽引され肩甲骨が胸郭に押し付けられたことにより、第2肋骨の外側縁で長胸神経が圧迫されている可能性が高いです。
- ※前鋸筋とは、第1～8肋骨外側面中央から肩甲骨の内側縁に付着しており、肩甲骨の外転や上方に回旋する働きをしています。

### 【治療法】

前鋸筋麻痺では壁に両手をあてて上体を前方に倒すと、麻痺している側の肩甲骨の内側縁が浮き上がってきます。スローや特異な肢位による前鋸筋麻痺の場合、原因となっている動作や肢位を避け、局所の安静を図ると回復していきます。

腕が上がらないなど気になる事があれば、早めにお近くの医療機関へ受診する事をお勧めします。